まちを元気にする計画と住民の参加

人口が減っている町は、どう活気を取りもどそうとしているか。住民はどう関わるか。

架空の町の課題（模式）

- **A** 人口が減る
- **B** 空き家がふえる
- **C** 店が閉まる
- **D** バスの本数が減る

課題と取り組みは
同じ文字（A〜D）で対応

町の計画づくりの流れ

	町の計画づくりの流れ	住民の関わり
1	**意見を集める** 町が集会を開いて、課題や願いを聞く	困っていることや願いを話す
2	**計画と予算案をつくる** 町役場が課題ごとに計画と予算案をまとめる	案について意見を出す
3	**町議会で決める** 議員が話し合って、計画と予算を決める	選挙で議員を選ぶ話し合いを聞く
4	**国や県の補助も受ける** 国や県が制度やお金で町の取り組みを支える	取り組みに加わる

実現した取り組みの例（架空の町）

- **A 移り住む人の相談**
  町に住みたい人の相談にのる窓口
- **B 空き家を使った店**
  空き家を直して、店や集まる場所に使う
- **C 地域の産物の直売所**
  地域でとれた物を町の人や訪れる人に売る
- **D 地域のバス**
  住民が使いやすい道すじと時間で走らせる

結果を住民が確かめて、次の計画に生かす

※ 架空の町の例。課題と取り組みは一例で、取り組みのよしあしを示すものではない。進め方は町によって異なる。